

訓練計画（サンプル）

1. 目的

本計画は、〇〇社〇〇事業場において安全かつ適切な作業の実施を推進するため、職員及び関係者（以下「職員等」という。）に対する教育・訓練に関して必要な事項を定める。

2. 教育・訓練計画の作成

職員等の作業に応じて必要な教育・訓練を特定して、定期的（毎年）に教育・訓練計画を作成する。

3. 教育・訓練計画の実施

教育・訓練計画に基づいて教育・訓練を実施するとともに、必要な場合は船舶の受け入れ前に個別の訓練・教育を実施する。

4. 一般的な教育・訓練内容

一般的な教育・訓練の内容として、以下の事項を含めるものとする。

- ① 解体手法に関する事項
- ② 安全と健康への危害に関する事項
- ③ 使用する道具と機械の使用方法に関する事項
- ④ 呼吸用保護具、防護服等の個人用保護具の使用に関する事項
- ⑤ 防災管理規程に記載する防災教育及び防災訓練に関する事項

5. 作業内容に応じた教育・訓練内容

労働安全衛生法に基づく特別教育など法令において特定の教育の実施が義務付けられている業務に従事する者について、当該教育を必ず受けさせるものとする。

（※）労働安全衛生法に基づき実施が努力義務とされている教育等についても、実施することが望ましい。

6. 記録の保管

教育・訓練の実施状況及び職員等の受講履歴を記録し保管する。

〇〇年度 教育訓練計画

NO	内容	対象	実施者	方法	時期	備考
1	船舶解体における安全な進入	解体部門	〇〇	講義	7 月、11 月	2 班で実施
2	船舶解体における有害物質	解体部門	〇〇	講義	9 月、1 月	2 班で実施
3	解体についての一般知識	入社 2 年未満	〇〇	講義	3 月	
4	新入社員教育	新入社員	〇〇	講義・実地	随時	